

議会だより

2003
11



ユニークな作品でにぎわった造形フェスタ（三段池公園）

多くの人でにぎわった新町商店街（市民まつり）



9月定例市議会の概要

9月定例市議会は9月8日から30日までの23日間にわたって開催された。

この議会には、「平成15年度福知山市一般会計補正予算」など14議案が提出されたが、その内、14年度歳入歳出決算と企業会計決算の認定の2議案については、決算審査特別委員会を設置して継続審査とし、残りの12議案をいずれも原案どおり可決した。

◆補正予算

一般会計では、児童福祉施設建設補助金4,096万2千円、基盤整備促進事業（遷喬I地区）6,018万6千円、福知山市中小企業緊急特別融資制度4,127万6千円、三段池公園整備事業5,856万円など、合計3億3,763万7千円を補正し、補正後の総額を261億4,869万6千円とした。

また、国民健康保険事業特別会計1億8,371万円、介護保険事業特別会計173万5千円をそれぞれ補正し、補正後の全会計の総額を670億6,177万3千円とした。

◆条例

福知山市税条例の一部改正、また、福知山市ガス供給条例の一部改正のほか、3条例の一部改正を行った。

◆工事請負契約（1件）

（仮称）福知山市高齢者地域福祉拠点施設新築工事
3億1,468万5千円

◆その他

- 土地改良事業の施行について
- 訴えの提起について
- 継続費精算書の報告について

9月
定例会

一般質問



福政会

芦田 廣	和泉すゑ子
野田 勝康	武田 義久
芦田 弘夫	竹下 一正

合併問題と本市財政状況について

問 1市3町の合併のあり方や本市財政の現状は。

答 編入合併という意向に変わりはない。ただ、合併後は財政状況のさらなる悪化が見込まれ、3町と協議のうえ、安定化をはかっていきたい。

人権問題と市民生活について

問 人権ふれあいセンターの実績と課題は。

答 利用人員は、13年度から14年度にかけて増加している。京都地方法務局の調査では、人権侵害事件も増加している。今後、さらに国連10年の行動計画をもとに、工夫をこらし、市民参画型のソフト事業を進め、教育や啓発に一層の努力をしていきたい。

市民病院の健全経営について

問 市民病院の健全経営を維持するために、どのようなサービスを提供していくのか。

答 オーダリングシステム、診療費の自動支払機を導入し、待ち時間の短縮をはかっている。職員の接遇の意識改革を進め、親しみ、安心感が持てる運営をしていきたい。

有害鳥獣の駆除について

問 有害鳥獣の駆除と駆除隊員の処遇改善はできないものか。

答 有害鳥獣の駆除は、一定の成果があったと考えている。また、駆除隊に対する報償費や奨励金についても、行政と駆除隊の方と、今後一緒に検討していきたい。

ゴミの分別収集について

問 ゴミの分別収集で、市民の苦勞に見合った成果が上がっているのか。

答 埋立処理していたゴミが半分ほどに減り、リサイクルの成果が上がっていると思っている。

長田地区内の都市計画道路と環境の整備について

問 都市計画道路多保市正明寺線の整備と、長田地区内の雨水排水計画は。

答 都市計画道路は、福知山温泉から福知山学園前付近までの整備に向けて検討していく。排水対策は、市道10号線の拡幅改良に合せた対策を検討中である。

市民病院へのバスの運行を

問 JRバスを使用して市民病院へ通院するのに、緑ヶ丘経由で午前と午後の1便ずつしか運行されていないため、大変不便を感じている。市民病院前バス停までの増便の要望が高まっているが、見解は。

答 合併も視野に入れて、3町のことも考えねばならない。巡回バスのようなことを、やる方向で検討させていただく。バスの増発については、バス会社にお願していきたい。また、市民病院前バス停経由となるような路線の変更をお願している。

女性専用外来について

問 女性が安心して受診できる女性専用外来の開設をお願いしたいが。

答 難しい課題はあるが、医療動向を見ながら、ぜひ前向きに検討したい。

トイレの改修について

問 「三和会いこいの家」のトイレの水洗化を。

答 簡易な水洗化ができないか研究している。

市街地の浸水対策について

問 陵北町、南栄町、和久市町、駅前町の浸水防止対策は。

答 陵北町は、南陵中グラウンドに一時貯水しなければならぬだろう。和久市町は、道路側溝の浚渫しんせつを行っている。また、駅前町は、区画内に小堤をつくり、一時貯水して下水道へ流す。

市営住宅の浴室整備について

問 浴室設置ができていない市営住宅には設置が必要だが。

答 今後、計画的に設置を進めたい。

国道6号の整備について

問 羽合交差点から西側の整備について、現状と見通しは。

答 必要な用地の確保に向けて、現在交渉中である。右折レーンりやうせつレーンを設けるなど、交差点改良をはかる予定。早期に改修を進めていただくよう国土交通省に要望していきたい。

平成 成 会

加藤 弘道 有 幸男
立道 正規 大西 敏博

市分庁舎併設の複合施設と合併問題について

問 合併も視野に入れた複合施設の基本的な考えは。

答 駅北側に市の分庁舎を作る必要がある。若者らを集客するため、図書館や喫茶の場所も作ってはどうかとされている。あの一帯は人が集まりやすいと思う。合併協議会でそう言った見解を明確に言うべき時がくる。

農業の衰退を防ぐ政策を

問 農地集積に対する助成と条件不利地助成が打ち切られるようだが、これに代わる助成は。

答 この2つは府の制度で、市が補助金を上乗せしている。廃止されるかどうかは流動的であり、これに代わる制度はまだ考えていない。

問 農業者年金制度のメリット、デメリットは。

答 メリットは、一定要件を満たしている方は、保険料助成等の政策支援が受けられる。デメリットは、経済情勢に左右されることだ。

問 アライグマの繁殖による被害状況と対策は。

答 住宅の屋根裏、倉庫に住みつき、糞尿や騒音の被害があり、捕獲の要請が出ている。要請件数は、昨年が4件、今年は18件寄せられており、捕獲したのは19頭である。外来種で比較的気性が荒く、天敵が少ないので増加していると思われる。檻を増やすなど、要請に応じた施策をやっていききたい。

問 本市が支援する地域農産物産地づくり事業の申込み単位、面積は。

答 本年度の申込状況は5名以上のグループであること、面積は特にならない。本年は2グループから要望があった。中六人部農業振興会の酒造りグループと今安宮農組合で、大納言小豆の栽培に取組んでいる。

ファイヤーエンジェルの活動について

問 ファイヤーガード隊、カラーガード隊の年間活動回数は。

答 ファイヤーガード隊は9回活動し、打合わせや訓練で23回集まっている。カラーガード隊は4回の行事参加と、53回の訓練をした。

高齢者福祉について

問 高齢者や高齢期を迎えつつある人たちも含め、介護を要しない人への取組みは。

答 府においても自立支援策を打出しており、生き生きサロンなどの施策を実施している。

問 自治会ごとでの高齢者が集える施設設置の考え方は。

答 自治会単位でコミュニケーションをはかるのはいいことだ。建設は無理なので、現存の施設を利用してもらいたい。

防災について

問 防災専門担当者の配置は。

答 防災計画に基づき対応する。自衛隊とは連携ができています。

問 庁舎の耐震性は大丈夫か。

答 大丈夫と自信を持っている。

塵埃処理について

問 バッテリーなどの持ち込みできない物の処理ルート作りを。

答 バッテリーなどについては、問い合わせがあれば紹介している。自動車リサイクル法の制定を待つて業者を指定し公表する。

合併問題について

問 法定合併協議会等の状況から市長の考え方に変化は。

答 編入合併が適当であり、その信念は変わらない。それが合併を阻害しても押し通したい。

日本共産党市会議員団

仲林 清貴 渡辺 麻子
足立 進

市町村合併問題について

問 これまでの協議をふまえ、「編入が妥当」という考えか。また、住民合意や、住民・福祉サービスの違いの取扱いについて市長の見解は。

答 編入合併は、私の当初からの信念で変わりはない。これに3町が反対しており、これからの話し合いだ。12月の説明会で、計画の概要を示し、理解を得ることが住民合意だと考えている。最終的な説明も念頭においてやらなければならない。3町のほうが比較的福祉サービスは高い。本市の場合、財政的に踏襲はできない。これから各小委員会です十分話し合っていたら、辛抱してもらおうことは辛抱してもらわないと。

問 財政シミュレーションについて、合併しない場合も示す考えは。

答 国の動向などもあり、難しいが、検討はしてみる。つくることができると、信憑性には疑問がある。

住民負担の軽減を

問 国保の現状をどうみているか。また、窓口での医療費3割負担への軽減制度の創設や、窓口での支払いが高額療養費までで済む受領委任払い制度を実施する考えは。

答 本来なら相互扶助だが、赤字が出る時には出る。その時には、本市の蓄えてある基金を充当して、保険料が上らないようにしたい。窓口負担の軽減は、今は考えていないが、規則などの制定については研究課題で、しばらく待つてほしい。受領委任払い制度の実施は考えていない。

問 市独自の奨学金制度の支給額引上げや、就学援助制度の所得基準を緩和する考えは。

答 市奨学金制度は、現行の支給額で進めたい。就学援助は、小・中学校合計で、12年度616人、15年度7月末で854人と、急増している。所得基準は現行のままを進める。

問 市営住宅家賃の滞納状況、減免基準、減免適用世帯数は。

答 管理戸数約1,000戸で、3か月以上滞納が86戸。減免制度利用者は46戸で、減免の要綱を定めている。

住宅改修助成制度の創設を

問 地域経済活性化のために住宅改修助成制度をつくる考えは。

答 取組んでいる自治体の状況も聞き、慎重に検討したい。

冠水対策について

問 駅前町、南栄町、駅南地域など、冠水被害が続く箇所の抜本的な対策と、当面の対応について。また、下水道事業で取組んでいる貯留槽整備の進捗は。

答 駅前は、南陵中学校グラウンドの雨水を一時的に貯水する整備が必要。駅前前は、駅東側の大規模区画に堤をつくり、一時的に水を貯水する。南栄町は、周囲の現状が変化してきたので、調査をし、対応していく。北本町の貯留槽整備は、17年度に完成する。駅前・内記についても20年度をめどに進める。

問 南本堀周辺の冠水対策は。

答 堀地域の状況は、14・15年度で調査中であり、その結果を待つて何らかの方策をする。局所的な改良を検討し、取組みたい。

子育て支援を

問 児童育成計画に、子育て世代の声を十分に反映するための手立ては。また、国が進める次世代育成支援計画との関係は。

答 秋に立ち上げる協議会に若い世代を登用する。次世代育成支援計画にエンゼルプランの内容を包含し、平成16年度中に策定する。

問 子どもの医療費無料制度で、病院の助成を受ける際の申請の簡素化を。

答 申請の実態を見ながら、検討していきたい。

問 前田児童館の児童クラブの預かり時間を充実する考えは。

答 預かり時間は、研究課題と受け止めている。



ごみ行政について

問 プラスチック製容器包装類の分別収集が始まったの実績は。また、ゴミ袋の検討や、ゴミ分別の徹底についての見解は。

答 容器包装類は、187トン業者者に引取ってもらった。埋立ては半分になる見込み。「燃やさないゴミの袋」に容器包装類の表示を入れる。分別については、市の広報などで啓発に努める。

新庄地区の産業廃棄物処理工場の計画に関わって

問 新庄地区に、自動車などの産業廃棄物処理工場が計画され、住民から不安の声が寄せられている。厳正な対処を求めるが。

答 市街化調整区域でもあり、府との協議も必要。市も関わりがあり、開発指導要綱に沿って対応していくが、現在、計画が出されていないので答弁できない。

公明党議員団

小野 喜年 今次 淳一

交通事故防止対策について

問 デイライト（昼間点灯）運動は、車の接近を歩行者やドライバーにいち早く知らせることにより事故を防ぐ施策だが、福知山市でも取組んではどうか。

答 京都府警本部も結論を出していないので、しばらく様子をみたい。

問 交差点で黄色になったら止まる「イエロー・ザ・ストップ」運動のステッカーの要望があるが在庫品がないとのことだが。

答 黄色で止まることは事故防止に役立つことなので、今後考えなければならぬ。要望があれば増刷してもよい。



500事業所で協力しているステッカー

行政評価システム・制度について

問 民間企業の経営手法を取入れ、行政サービスの向上をめざすシステム導入の進捗状況は。

答 評価基準をなにももって判断するかが難しい。研究をしていきたい。

問 職員の交通費は、割引率の低い1か月定期券相当で支給されているが、割引率の高い6か月定期に切替えてできないのか。

答 人事院勧告が出ているので、国の動向を見守っていきたい。

ごみ分別収集問題について

問 ごみの分別は8種類あり、収集日も複雑で、高齢者や転入者はパニック状態になっている。1か月ごとの「ごみ収集カレンダー」を地域ごとに作成して各戸に配布できないか。

答 カレンダーを作ることは考えていない。パンフレットの「あなたの地区のごみ収集日」の記入欄を利用してほしい。

地域防災対策について

問 各避難所の連絡先一覧表を作成して各戸配布できないか。

答 公的施設は電話があるが、公民館にはない所がある。今後検討したい。

自民クラブ

和田 久 永田 時夫

下六人部地区整備計画について

問 長田野企業との公害防止協定の見直しと、30年間にわたる粉塵と異臭発生源の実態と対策は。

答 国や府が定めている規制で協定を結んでいる。協定に基づいて公害測定報告の提出を受けており、基準値を守っている。粉塵、異臭問題も保健所と連絡をとりながら今後も継続した監視、指導を行っていく。



公害防止協定見直しの声がある長田野工業団地

問 市道岩間小野線の整備は、今後どのようにされるのか。

答 延長1,200mの側溝や舗装の修理といった部分改良で対応していきたい。

学校施設等の耐震診断について

問 学校の耐震診断の実施状況と今後の計画と進捗率は。

答 平成8年度から6棟実施した内訳は、大正、昭和、佐賀、下六人部の各小学校で、進捗率は10・34%。今後は52棟を3か年計画で実施していく。

福知山市企業交流プラザの運営について

問 (社)長田野工業センターは、長田野企業42社と京都府と福知山市から年間5,000万円の運営費を得ている。本市の建物であるのに市民が利用できず、私物化されているとの声が多く出ているが。

答 現在は、(社)長田野工業センターに管理を委託している。今後は課題として検討させていただく。



市民が利用できない福知山市企業交流プラザ

新 政 会

- | | |
|-------|-------|
| 田淵 弘 | 杉山 金三 |
| 塩見 仁 | 審良 和夫 |
| 井上 重典 | 吉見 光則 |
| 松本 良彦 | 福島 慶太 |

新年度予算について

問 予算編成の基本方針は。

答 税金や交付税にも大きな伸びが期待できないため、限られた財源を有効活用し、経費の節減合理化と優先順位を見極めて事業を実施し、健全財政を保持していく。

1市3町の合併について

問 市庁舎併設の複合施設計画構想について、文化施設の導入の考えはどうか。

答 立派な駅ができて、喫茶や食事ができる所を設ければ、若い人が集まりやすくなる。駅の北側については、北近畿の都づくりとしてどうかと考えている。

問 1市3町の起債残高と今後の予算編成について。

答 本市もリサイクルプラザ、市民病院、斎場など、多くの起債残高があり、大きな事業は不可能である。3町長とも財政状況について親しく話し合う中で、予算編成の問題も出てくると思う。

問 合併方式決定のスケジュールは。

答 住民説明会の実施を予定している。12月がタイムリミットと思う。

農政問題について

米政策改革大綱への準備期間の取組み状況は。

改革の中心となる産地作り交付金は、地域の水田農業ビジョンの策定が要件となっている。9月中旬に策定づくりの中心となる福知山市地域水田農業推進協議会を設立し、ビジョン策定に着手する。

水田農業経営確立対策における転作の状況は。

15年度の達成状況は、110.6%である。

中山間地域等直接支払制度の効果と課題は。

効果は、集落内の取組みにより、耕作放棄地の発生防止と、生産活動の維持及び共同作業による助け合いなど、生活環境の整備が進められている。課題は、中山間地域の高齢化と担い手不足による厳しい農業体系の中で、集落とともに農業振興の仕組みづくりを考え、推進していく必要がある。

交差点の安全確保について

府道福知山綾部線の東住屋野地内の交差点は、通勤時間帯には自動車が渋滞し、雀部小学校などの児童の登校に危険な状態だが、安全確保の見直しの考えは。

要望に込えられるような方策が講じられないか、警察署ともよく相談したい。

子育て、教育問題について

子育てに悩む親の相談施設等の考え方は。

家庭教育の低下は全国的課題で、教育の原点である家庭教育を支援していきたい。「おひさま広場」や「学校見学会」に今後も取組みたい。

親子が地域でふれ合える施設は。

三段池公園内大はらっぱの芝生広場は、セラピー効果もあり、部分共用も考えたい。

環境問題について

分別方法の多様化による市民の困惑と対応は。

今後も啓発に努め、つみ残しゴミについては、自治会長と協議をして処理をしていく。

下荒河地区の油流出事故の調査と対応は。

現在調査中であり、関係機関と協議をし、継続して油除去と事故防止を指導していく。

土木構造物の安全管理について

橋梁のコンクリート劣化による安全管理と対応は。

平成12年度に全橋梁の現況調査を行い、対策が必要な橋梁は財政が厳しい中ではあるが、順次修繕を行っている。

駅周辺事業について

駅周辺整備の今後の予定と道路整備について。

現在の進捗率は29%、18年春から駅南口整備を進める方向。駅北については、線路跡地に市民会館や図書館のような、人の集まる施設を考えていきたい。駅前駐車場へ通じる道路を早期に対応したい。

高齢者福祉について

高齢者虐待と介護支援について。

大きな問題であると思う。各関係者と連携し、虐待防止に向けての啓発並びに介護者への支援を行っていきたい。

IT推進について

eIJAPAN計画に基づく高速広域通信網整備について。

市としても国の方針に沿い、市内LANの整備をはじめ、IT化をはかっているが、セキュリティの問題がある。広域通信網の整備については、高額な予算が必要となり、現在は電子会計システム運用の必要性を考えている。電子市役所の実現についても通信インフラの整備の充実をはかりたい。

無党派

荒川 浩司

子どもを犯罪から守るために

犯罪防止の指導は。

学級活動の中で、警察指導やCAP講習(様々な暴力に対する対処法)を行っている。

地域・学校・PTAによる安全対策組織づくりの必要性は

3者間での連絡はとれている。しかし、継続的な防犯活動の必要性を考えたとき、行政が推進役を担うべきだと考えるが、どうか。

児童交通安全対策協議会を8小学校で設置。関係機関への発信は、学校だと思っている。



自治会で進められている自主防犯活動

9月定例会常任委員会の審査報告

総務委員会

当委員会は、付託された議第15号15年度一般会計補正予算のほか、市条例の一部改正などの3議案及び追加提案の議第27、28号の計6議案を慎重に審査した。

歳入では、15年度分地方交付税の確定歳入補正のほか、特定交通安全施設整備事業の岩間歩道橋新設、三段池公園整備事業の大はらつば芝生広場造成にかかる歳入補正で、いずれも国の補助金額が当初予算を上回る補助内示があったための補正である。

歳出の5、300万円は、市内の法人企業の決算により、業績が落ち込んだ企業の法人市民税を還付する必要があるため、歳出補正するものである。

追加提案の27、28号については、本市都市計画道路厚水内線の移転補償に伴う裁判の控訴審で、建物移転補償額の一部増額等を認めた判決が出された。これに対し本市が不服として最高裁へ上告するとともに、相手方に補償金の支払いの仮執行を認めた内容に対し、大阪高等裁判所に強制執行停止の申立てを行う費用及び執行停止のために供託する金額を補正するものである。

以上の経過で審査を終わり、採決の結果、全議案全員賛成で原案のとおり可決された。

市民厚生委員会

当委員会は、付託された議第15号一般会計補正予算ほか3議案について慎重に審査を行った。

福祉部関係では、鉄道弘済会福知山保育所の老朽化による改築に関して質疑があり、建築総額が約2億5千8百万円で、その内、市補助が4千96万2千円、法人負担が約8千万円、園児の定員は現在と同じ90名、との説明であった。

市町村高齢者地域活性化推進事業は、高齢者の自主的グループ活動に対して20万円を補助するもので、老人クラブ連合会に説明して、府補助要件に合致する3グループを決定したという説明があった。

議第25号の工事請負契約の締結については、福寿園跡地に建設する高齢者地域福祉拠点施設新築工事に関し、談合情報の調査とその処理について質疑があった。これに対し、直ちに各社の代表者を個別に呼び、聞き取り調査を実施したが、各社ともそういう事実はなかったということを確認し、契約書を提出してもらった。結果は、情報と同じ業者が落札しており、入札に関しては、透明性を確保し、不審を抱かせないように努めてほしいという要望や、談合情報マニュアルにある委員会委員に外部の第三者的な委員を入れるべきだという意見もあった。

以上の経過で審査を終わり、いずれの議案も全員賛成で原案可決された。

経済委員会

当委員会は、付託された15年度一般会計補正予算ほか3議案について審査を行った。

経済部所管の議案では、団体営ため池等整備事業（三段池地区）に関し、周辺都市計画公園との関係やマラソン実施時期との関連について、住民等への周知、説明の質疑があり、農業用ため池で、都市計画公園の一部でもあり、利用価値が高い所でもある。マラソンのスタート地点でもあるし、住民とも十分に調整しながら進めていくことが必要と考えている。との答弁があった。中小企業特別融資制度については、同制度の概要として、今後さらに、補正根拠件数を越えた場合の件数等の限度などについての質疑があり、近隣市町村の件数も参考に見積りをしており、補正額の範囲内で対応できると考えている。との答弁があり、対象資金、融資期間、申請手続などについても詳細な答弁があった。

次に、ガス供給条例の一部改正では、コージェネレーションは、都市ガスが生き残るための新たな顧客確保、新需要の開拓を行い、経営の安定化をはかるとともに、二酸化炭素の発生を抑える環境にやさしいシステムである、という説明があった。これに対して健全で安定した運営を行うとともに、経済面、環境面もさることながら、多方面から十分検討を重ね、公的施設、事業所だけでなく、一般家庭にとっても意義ある、理解の得られるシステムにしてもらいたい、との多数の意見があった。

以上の経過で審査を終え、採決の結果、全議案全員賛成で原案のとおり承認可決された。

文教建設委員会

当委員会に付託された15年度一般会計補正予算第2号及び第3号追加提案議案について、慎重に審査を行った。

第2号は、現在の岩間橋下流に幅員2mの歩道橋を設置するための実施設計調査費、菱屋堀線及び荒木神社堀線の市道改良費、三段池公園大はらつば地区の荒造成事業費、西岡町の雨水排水対策費などにかかる土木費9,588万9千円を補正するもので、いずれも必要かつ妥当な補正であるが、特に、南陵中学校周辺の高台からの雨水流出対策を早期に実施してほしい、との強い意見があった。

教育費では、学校給食センターの省エネルギー化改修工事に伴う実施設計費及び1,200冊搭載できる移動図書館車の更新経費等の935万円を補正するものである。補正予算第3号は、都市計画道路厚水内線の控訴審判決で、建物移転にかかる補償費の一部増額判決を受けたため、2,133万5千円を補正し、強制執行を停止させるために措置するものである、との説明を受けた。

以上の経過で審査を終わり、採決の結果、全議案全員賛成で原案のとおり可決された。

《市議会活動状況報告》

非核宣言自治体全国大会・協議会総会

(長崎平和祈念式典)

8月8日～9日、台風10号が北上する中、長崎市において開催された標記全国大会・協議会総会及び平和祈念式典に参加しました。総会並びに全国大会では、全国3,254自治体の内、8割を超す2,614の地方自治体が非核都市を標榜しているか、今後、市町村合併等により変動があっても、より多くの自治体が核兵器廃絶に向けた連帯の輪を広げていくことを確認しました。今日、核保有国である米国、ロシア、英国、フランス、中国は依然として核兵器を保有し、自国の優位を競い、核兵器を放棄する姿勢を見せていません。さらには、インド・パキスタンによる核実験競争、朝鮮民主主義人民共和国の核兵器保有発言など、核兵器をめぐる状況は悪化の一途をたどっています。今、私たちは核兵器保有反対、核兵器廃絶の意志を貫き、核兵器廃絶の国際世論を大いに高めていくことを誓い合うとともに、大会に参加し、平和の大切さに対して思いを新たにすることができました。

議会運営委員会

議会運営委員会は、8月25日～26日に、広島県廿日市市、尾道市の合併の取組みについて視察を行いました。廿日市市は、すでに今春に1町1村と合併し、尾道市は、現在2町と合併協議を進めており、両市とも、合併の方式は「編入」方式となっています。

合併の協議については、両市とも、法定協議会設置以前に任意協議会の中で、一年以上かけて、ほとんどの項目について協議を重ね、基本4項目をはじめ、多くの調整項目を確認しています。

また、住民サービスの調整においては、尾道市と合併を協議している御調町の方が、医療・保健サービスは充実しているため、「御調町では住民サービスがどうなるのか。」と関心があり、大きな課題になっていました。

さらに、両市とも「議員の扱い」の協議が難航しており、廿日市市では、町や村の議員も全員が新市の議員となる在任特例を選択したものの、市民感情もあり、任期を待たずに法定数にする協議が行われていました。

議会日誌 8月～10月

- 16日 市町村合併特別委員会
- 12日 各派幹事会、議会運営委員会
- 8日 市議会9月定例会開会(提案理由の説明)、各派幹事会
- 1日 議会運営委員会、市町村合併特別委員会
- 28日 議会運営研修(28～29日、大阪市、次長)
- 25日 議会運営委員会行政視察(25～26日、廿日市市・尾道市)
- 20日 由良川沿川市町議会関係委員会正副委員長会要望(20～21日、国交省近畿整備局・国交省本庁)
- 8日 全国非核宣言自治体全国大会・協議会総会及び長崎平和祈念式参加(8～9日、長崎市)新潟県十日町市議会視察来市、議会運営委員会、各派幹事会
- 7日 群馬県藤岡市議会視察来市
- 6日 由良川改修促進特別委員会要望(京都府・国交省近畿整備局)
- 5日 京都府北部4市議会連絡協議会(舞鶴市)
- 8月～10月
- 17日 本会議(議案質疑、一般質問)
- 18日 本会議(追加提案質疑、一般質問)、総務委員会、文教建設委員会
- 19日 本会議(追加提案分委員長報告、採決、一般質問)、各派幹事会
- 22日 総務・市民厚生・経済・文教建設各常任委員会
- 30日 本会議(委員長報告、採決)
- 2日 北海道西いぶり廃棄物処理広域連合議会視察来市
- 7日 総務委員会・市民厚生委員会行政視察(7～9日)
- 8日 経済委員会・文教建設委員会行政視察(8～10日)
- 9日 全国市議会議長会広域行政圏市議会協議会役員会(松山市)
- 14日 議会だより編集委員会
- 15日 京都府市議会議長会事務局長会(京都市)



編集後記

夢と希望をもって迎えた21世紀も、早や3年が過ぎようとしておりますが、期待とは裏腹に、社会情勢は混沌としています。天候までもがおかしな状況となり、農作物にも大きな被害が出ております。この様な状況の中、9月定例会市議会が開催され、21世紀の重要課題である環境保全・福祉・人権について、さらに、大きな問題である合併について、市民の皆様への負担に配慮、生活を守るべく14名の議員が質問に立ち、真摯に質疑が行われました。

新人議員も半年が経過し、議会にも慣れ、自分のおかれて立場を認識し、全力投球で頑張っています。

日本経済の一日も早い復調を願います。市民の声を市政に反映させるべく努力してまいりますので、今後とも一層のご教示、ご支援いただきませうお願いいたします。



- 20日 議会だより編集委員会
- 21日 決算審査特別委員会(21～24日)、議会運営委員会
- 28日 京都府市議会議長会(京都市)
- 31日 議会運営委員会